

第550回

I B C 番組審議会議事録

—議題—

J N N 東北5社共同企画番組

「忘れない あなたの事—行方不明兵士100万人の捜索」

平成22年4月21日(水)

(株) I B C 岩手放送

第550回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成22年4月21日(水) 午前11時

2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール

3. 委員の出席 委員総数 11名

出席委員 6名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 宮澤 徳雄

委員 大村友貴美 工藤 和彦

澤口たまみ 白石 茂

欠席委員の氏名 熊谷志衣子 小松 務

杉本 博 田辺 博

矢佐 俊幸

会社側出席

阿部 正樹 代表取締役社長

川島 敬司 専務取締役

阿部 広 常務取締役テレビ編成局長

川上 隆 取締役ラジオセンター長

柴田 継家 報道局長

堀米道太郎 制作部副部長

事務局

菅野 秀樹 常務取締役

中島 勝志 番組審議会事務局長

小笠原 勉 事務局

4. 議題 JNN東北5社共同企画番組

『忘れない あなたの事—行方不明兵士100万人の捜索—』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 遺骨収集する方々の様子を見て、戦争という悲惨なことを二度としてはならないし、風化しつつある戦争についてももう一度考える機会を与えられたと思いました。
- 民間団体だけでの取り組みには限界がある。日本政府として今後どのように対応していかなければならないのか、問題提起の内容にもなっていた。
- 重いテーマではあるが、力のこもった優れた番組だった。
- 政府がやっていることには間違いはないんだと思っていることに対して、これでいいのかと疑問を呈するものを見方を教えてくれた番組でした。
- 「親父たちは二度も負けている」という言葉が印象に残った。確かに戦争そのものにも負けたし、戦争が終わった後も遺骨収集などでアメリカに負けている。そういった意味で「二度も戦争に負けた」という言葉が心に残った訳です。
- 日本政府の戦争に対しての処理の仕方がいまひとつ積極的ではないと感じられた。遺族の立場とすれば、自分の手元に肉親の遺骨が戻ってこないことで、未だに戦争が終わっていないと感じることは当然かなと思います。
- 現地では日本の遺骨収集をビジネスにしている向きがある。例えば、インドネシアでは土葬の風習があるそうですが、墓地をひっくり返して遺骨を取り出し、それをあたかも日本兵士の骨だと言うことでお金を渡すということが紹介されていました。とても複雑な思いで、考えさせられる問題だと思いました。
- これだけの行方不明の兵士がいて、未だに収集されていないという事実をどれだけ今、日本の国民が知っているのだろうか。この事実を国民の幅広い層に報道していくのも、メディアとして大事なことだと思います。